

悪:神の不在

アミール・ツアルファティ

-創造主を拒絶した世は、どうなるのか-

<https://youtu.be/YbSsyjkwEeY>

ここで皆さんと分かち合いが出来ることに、とてもワクワクしています。残念ながら、今夜のテーマは最もハッピーなものではありません。先ほどまで私は、人生の中で本当に良い時間を過ごしていました。素敵な結婚式があって、もちろん素晴らしい兄弟姉妹との交流の時間もありました。でも、今夜皆さんと分かち合いたい事は、この世界の暗い側面についてです。そして、今起きている事、また、それらの事が…私が思うに、皆さん一人一人に、どう関わってくるか。これら全ての事には、目的と理由があります。

今夜のメッセージのタイトルは、「悪：神の不在」です。悪は私たちの周りの、至るところに存在します。事実、ほとんど毎日、テレビを付けたり、ニュースを読めば、少なくとも、500人の人が新たに殺されています。残酷に殺され、首を切られ、虐殺されています。このような事をする人たちのほとんどは、実際には、神の名のもと、宗教の名のもとに、どこかの神々を喜ばせていると考えて、行っているのです。世界中の人々は、長年の非常に多くのテロ団体に慣れてしまいました。彼らはやって来ては去っていき、現れては消滅し、台頭しては解散していきます。しかし、それでも、私たちがISISとして知っているこの新しい現象は、何かが根本的に違っています。ISISは、"Islamic State of Iraq and Syria"の頭文字で、(イラク・シリアのイスラム国)ですが、事実、彼らは、もはや自分たちの事をISISとは呼ばず、イスラム国と呼んでいます。なぜなら、彼らの野望が大きく膨らみ、イラクとシリアは、既に彼らのものになり、今や更に進んで拡大していますから。でも、私が気になるのは、イスラム国によってなされた悪を、人々が、あの宗教だけに繋げている点です。人々は、悪に宗教がない事を理解していないのです。

悪は、聖書の創世記2章にまで遡ります。私の知る限り、その時、イスラムは存在していませんでした。だから、私たちは、はっきりさせておかなければなりません。レイプ、斬首、虐待、拷問、生きたまま焼き殺し、生き埋めにし、人身交換、人身売買。この世界、この地球上のこれらすべての事は、世界の初めから存在していたのです。私たちは頭を砂に埋めて、「それは私の宗教ではない。彼らの宗教だ、邪悪な宗教だ、あの宗教だけだ！」そう考えることは出来ません。私たちは、悪の始まりは、もっと古い事を理解しなければなりません。私たちが、21世紀の今、これらすべての事を目撃できることには、なにか大きな目的があるのだと信じています。なぜなら、ヨハネが言ったように、私たちは最後の時を生きていますから。ISISは、ある宗教の名のもとに、あのような事を行っています。私は世界を訪れて気づいたのですが、若い人たちは…、この中に18歳~22歳の方は、どれくらいいますか？ ああ、分かりました。では皆さんは経験したわけですね。大学生の子供たちの世代は、激しい洗脳の一歩の被害者ではないかと思えます。その彼らが言うには…私はこの世代と話をしたから気づいたんですが、この邪悪全体が宗教と結びついており、従って、悪は神に由来している。悪は神と結びついている。つまり、私たちは自問自答しなければならぬ。「なぜ、神は悪を生み出したのか？」彼らは世界中で起きているこの悪について、文字通り、神を非難しているのです。ところで、これは神を無視した生き方へのチケットです。自分は敬虔な生活を送っている、と考えながら、実際には悪を行うものとなっています。これら全ての事がいかにめっちゃくちゃで、いかに湾曲されているか、見てください。私が世界中を旅していて、このことに気づいた時、私は決心しました。今こそ、座ってメッセージを書いて、この世界の悪が神と結びついているかどうかについて言及すべき時だと。私たちは、聖書を信じる者として自問自答しなければなりません。聖書のどこに、悪について書かれているのか。

もうお話ししましたが、創世記2章、これが、悪という言葉が、聖書で最初に現れる箇所です。私はこれはとても早いと思います。そう思いませんか？ エデンの園、創造が終わったばかりです。全てがとても新鮮だった時の話です。

神はそれを良しと見られた。(創世記1:25)

神は人間を見て、それは非常に良かったのです。そして人が1人でのいるのは良くないと、女を創造されました。そこで何が起こったのでしょうか。創世記2章16～17節にはこうあります。蛇が、エデンの全ての木は、…蛇がエバに言ったことを見てみましょう。

あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪と知識の木からは、食べてはならない。その木から食べるとき、あなたは必ず死ぬ。(創世記2:16-17)

これは神の命令です。神は「あなたは必ず死ぬ」と言われたんです。凄くないですか？ 善悪を知る知識の木があったのです。言い換えると、神が創造したのは悪ではありません。善悪の知識なんです。神が全ての人に望んだのは、実際のところ、神は、人がそれを使う必要がないことを望んでおられました。違う言い方をしましょう。シンプルで率直な質問をしてみましょう。ただ果物を食べることが、そんなに罪深いことでしょうか？ 果物が問題ですか？ もちろん違います。では、ここでは何が問題なのでしょう？ ここでの問題は、神は、第一日から、私たちに警告されたのです。反逆は悪につながり、それがそのまま死につながる、と。そして神が私たちに望んだのは、生きること。彼が私たちに望んだのは、良い人生です。面白いのは、悪とは神が創造したものではなく、それは単に、神の命令に対する人間の不服従の結果であり、それは、常に死につながるのです。悪は、誰か他の存在に従い、神に従わないことから生じます。繰り返しますが、神が私たちに望まれるのは、いのちを選ぶことです。さて、蛇はそこにいて、他の何かを信じさせようとしていました。でも、神は常に、私たちがいのちを選ぶことを望まれます。申命記30章で、モーセが民に話をしているとき、神がモーセに語られ、彼は言いました。

(申命記30:15-19)

「見よ、わたしは確かに今日あなたの前に、いのちと幸い、死と災いを置く。もしあなたが、私が今日あなたに命じる命令に聞き、あなたの神、主を愛し、主の道に歩み、主の命令と掟と定めを守るなら、あなたは生きて…」
生きるだけじゃありません。「…その数はふえる。あなたの神、主は、あなたが入って行って所有しようとしている地で、あなたを祝福される。しかし、もしあなたが心を背け、聞き従わず、誘惑されてほかの神々を拝み、これに仕えるなら、今日、私はあなたがたに宣言する。あなたがたは必ず滅び失せる。」(申命記30:15-17)

神は、「あなたがたを殺す」とは言っていません。神は、「あなたがたは必ず滅び失せる」と言ったんです。彼はただ、人間が不従順を選択した結果としての死を予告されたのです。興味深いことに、神はこう言われます。

あなたがヨルダン川を渡り、入って行って、所有しようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くことはない。私は今日、あなたがたに対して天と地を証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいをあなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き…(申命記30:19)

凄いと思いませんか？ 私たちが拝む神は、殺すとも言わず、自殺しろとも、誰かを殺せ、とも言わず、私たちにいのちを選べと言ひ、私たちが長生きすることを望み、私たちが増えることを望み、私たちが子孫とが生きることを望んでいるのです。私たちが拝んでいる神は、彼が私たちを愛しておられる事を証明する為に、そのひとり子を殺したのです。興味深いのは、創世記3章には、ご覧の通り、

「…すると、蛇は女に言った。」

蛇がどれほどずる賢いか、見てください。彼は言いました。

「…あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを、神は知っているのです。(創世記3:4-5)

蛇は実際のところ、彼らにこう言っているのです。「神は、あなたがたが神のようになることを恐れている。だから、食べるなど言ったのです。でも教えてあげます。どうぞ食べてみてください。あなたがたが本当は死なないと約束します」 はあ。何という事でしょうか。面白くありませんか？ 彼らがそれを食べて、最初に起こったこと、彼らは何に気づきましたか？ 彼らは裸だった！ なぜでしょう？ 悪がこの世界に入り込んだからです。つまり、今や、彼ら

が裸であることが、恥になったのです。裸でいることが、何か悪いこと、間違っただけになってしまったのです。今や、彼らは「大変だ！隠さないで！」と思うようになったのです。その瞬間まで、何も問題はありませんでした。でも今や、それは問題です。イザヤ書14章には、悪魔の性質が書かれています。つまり、蛇。彼は、アダムとエバに言います。「神は、あなたがたが、神のようになることを恐れているのだ」でも、実際のところは、彼は自分の本心を語っていたのです。聖書にはこうあります。

おまえは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を挙げ、北の果てにある会合の山で座に着こう。密雲の頂上に上り、いと高さ方のように上ろう。』(イザヤ14:13-14)

これこそが、彼の望みです。そこで彼は何をしましたか？ 彼は、人間にそれをすべきだと信じ込ませたのです。神が私たちに避ける事を願われたたった2つの事が、一番の願望となりました。不従順が入り込んだ時、あの罪が注入されたとき、私たちが避けるべき事への願望が、私たちの内で燃え上がるようになりました。そして今に至るまで…あの日、世に入り込んだあの罪は…間違えないでください、あの瞬間から、全ての人は罪を持って生まれて来るようになったのです。ダビデは、詩編51編で言いました。

罪ある者として、母は私を身ごもりました。(詩編51:5)

興味深いことに、私たちは理解しなければなりません。神は、悪を創造していません。神は悪を創造することが出来ません。なぜなら悪は、神の正反対の存在だからです。事実、私の好きな例えは、悪でさえ、それ自身で存在することは出来ません。ただ悪だけ、というものは存在しません。悪とは、神の不在です。分かりますか？ 悪とは神の不在。あなたが神に近づくほど、あなたは悪から遠ざかり、神から離れるほど、悪に近づくのです。それはちょうど、暗闇とは光の不在であるのと同じです。暗闇は、それ自身で存在しません。光が少なくなるほど、暗闇が増し、何か暗くなるのは、光の不在によるのです。更に例を挙げるなら、「冷」はそれ自身では存在できません。「冷」とは、「熱」の不在です。「熱」があるほど、「冷」は減り、熱やエネルギーが少なくなるほど、冷たくなります。でも、「冷」とは、それ自身で存在するものではありません。「熱」が多いか少ないか、それが問題です。そして神が存在します。

ということで、神は悪を創造しなかっただけでなく、今日学びますが、唯一、神が嫌うもの、それは悪です。私たちの神は、殺人、破壊、斬首、レイプ、そういった類^{たぐい}の事には、全く興味ありません。聞いてください。私が旅していると、みんなが私のところに来て言うのです。「あなたはユダヤ人でしょ？ 旧約聖書の神の裁きや死について、どう説明しますか？ 新約聖書のイエスが、愛や赦しが全てである事は理解出来ます。」 私はいつもこう答えます。「まあまあ、そこで止めてください。皆さん間違っていますよ。私たちは、2つの異なる神に仕えているではありません。昨日も今日も、永遠に同じ神です」 私の聖書では、私の旧約聖書では、民数記14章18節にこうあります。

主は怒るのに遅く、恵み豊かであり、咎と背きを赦す。(民数記14:18)

アーメン？ そして、私の旧約聖書の詩編40編17節は、

「私は苦しむ者 貧しい者です。主が私を顧みてくださいますように。あなたは私の助け 私を救い出す方。わが神よ 遅れないでください。」(詩編40:17)

私の旧約聖書の詩編18編2節では、「**主はわが巖 わが砦 わが救い主。身を避けるわが岩 わが神。わが盾 わが救いの角 わがやぐら。**」(詩編18:2)

私の旧約聖書の詩編106章1節、107編1節、118編1節では、

「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」(詩編106:1,107:1,118:1)

これは新約聖書ではありません。旧約聖書の神は、新約聖書の神に劣らず、いつくしみ深く、同じ神です。ところで、イエスのバランスの取れた図をお示ししましょう。イエスは、ろばに乗ってエルサレムに入りました。中東の文化では、王がろばに乗るとき、彼は平和的に、平和の意図をもって来るのです。ソロモンがエルサレムに入った時

も、ろばに乗っていました。彼は自分の同胞と戦うつもりではなく、平和のために来たのです。しかし、その伝統にのっとって、王が馬に乗ってくるときは、彼は戦いのために来るのです。いいですか。イエスは最初にエルサレムに入ったとき、ろばに乗っておられ、聖書には、人の子は裁くためではなく、救うために来たのだ、とあります。ところでお知らせがあります。イエスは戻ってきます。いいですか？ 彼は何に乗ってくるのでしょうか？ (馬) 彼は何をしますでしょうか？ 戦いです。聖書は言います。

神は愛です。私たちは自分たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにとどまる人は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまっておられます。(第1ヨハネ4:16)

私たちは皆、愛とは何か知っています。私たちの神は、人殺し、首をはねる、殺人、レイプ、人身売買、虐待の神ではありません。神は愛です。

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、不正を喜ばずに、真理を喜びます。すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。」 (第1コリント13:4-7)

神はいつくしみ深いのです。しかし、ネヘミヤ記9章17節は言います。

それにもかかわらず、あなたは赦しの神であり、情け深く、あわれみ深く、怒るのに遅く、恵み豊かであられ、彼らをお捨てになりませんでした。(ネヘミヤ9:17)

では、神が憎むものとは何でしょうか？ 神は、悪を憎まれます。いいですか。神は自分が憎むものを創造することは出来ません。神は、自分と対極にあるものを創造することは出来ません。それは神の不在です。詩編11編5節には、「**そのみこころは、暴虐を好むものを憎む**」とあります。詩編26編5節では、「**(神は)悪を行うものの集まりを憎み**」とあります。誰にも騙されてはいけません。天と地の創造者が悪を創造し、悪を楽しんでいる、とか、そして実際、自分の子らに、それを実践するように命じている、とか。実はISISは、この世界で、今現在、とても重要な役割を演じていると私は信じています。皆さんは思っていますね？ 「神の人々のために、彼らにどんな役割が果たせるというのか？」では説明しましょう。よく聞いてください。これは、皆さんすべてに関わります。ISISは、世界がかつてどのようなであったか、そして世界が近い将来どうなるかを垣間見せています。神はまさに今、私たちに、ほんの少し垣間見る機会を与えてくださっているのです。後に、それらが至る所で起こります。「ちょっと待ってください。あなたは世界中が人々の首をはね、レイプし、生き埋めにするようになる、というのですか？」そうです。事実…、いいですか？ 過去において、神によってイスラエルの民に命じられた、カナン人の破滅は、神の、気まぐれな”エコ崩壊”ではありません。それは、ある社会への、明白な道徳上の裁きだったのです。それは聖書に書かれており、考古学的にも裏付けられている、墮落した、異常で暴虐的な社会でした。彼らが何をしていたか、何を実践していたかを、ここで言うつもりはありません。なぜなら、少し恥ずかしいからです。でももし、あなたが本当に知りたければ、レビ記18章を見てください。神の律法は、実際のところ、彼らが実際にしていた事が基になっているのです。言い換えると、「彼らがしている事を、してはいけない」 こうあります。

あなたがたは、自分たちが住んでいたエジプトの地の風習をまねてはならない。また、わたしがあなたがたを導き入れようとしているカナン地の風習をまねてはならない。彼らの掟に従って歩んではならない。

(レビ記18:3)

「人の首をはねる以上に邪悪な事がありますか？」とあなたは思うかもしれません。本当に？ では、これはどうでしょう。町全体の指導者たちが、その町の住民全てと一緒にあって、生まれたばかり赤ちゃんを、そこに置いて火をつけて、生きたまま焼かれるのを見て楽しむ…テロリストの話ではありません。ある町とその住民の話です。ところで、赤ちゃんの泣き声をかき消すために、彼らは太鼓を叩きました。それをヘブライ語で、エシュ・トフェと呼びます。エシュとは火のことで、トフェは太鼓のことです。それは火と太鼓を叩く、地獄のような光景でした。それは、彼らが行っていたことの一つでした。それは犯罪ではなく、それは罪とは考えられていませんでした。それは誤りだとは考えられず、それは間違っただけだとは考えられていませんでした。それは実際、慣習でした。彼らは互いに教

えあっていました。あなたもすべきだ、これは良いことだ、これが道だ、と。世界は、このようだったです。その為に、レビ記18章6～23節が書かれたのです。見ての通り、その地方の住民が行っていた悪い慣習が、神の律法の基となったのです。「してはいけない!」「彼らが行っていたことを、してはいけない!」興味深いことに、神はイスラエルの民に言われたのです。「わたしは、間もなくあなたがたをカナン^のの地に導き入れる。誰一人として、生きてまま残しておいてはいけない。全てを破壊しなさい」と言う、あなたは思うかもしれません。「え? これはまさに、ISISの神と同じタイプじゃないか?」いいえ。違います。何一つ残さないことによって、神はイスラエルの民に、実際、言われたのです。「この悪を行う人々によって虐殺されようとしていた何百万人ものいのちを私は救いたい」実は、イスラエルの民を選び、カナンの住民と置き換えることによって、神は水準を上げておられたのです。神は世に、唯一の神への信仰をもたらし、神の子となる、神の御言葉をもたらされたのです。救世主、救い主、王の王、主の主。ところで、この為にイスラエルの民が約束の地に入るとき、申命記9章4～5節にはこうあります。

あなたの神、主があなたの前から彼らを追い出されたとき、あなたは心の中で、『私が正しいから、主が私をこの地に導き入れ、所有させてくださったのだ』と言ってはならない。これらの国々の邪悪さのゆえに、主はあなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。あなたが彼らの地を所有することが出来るのは、あなたが正しいからではなく、またあなたの心が真っ直ぐだからでもない。これらの国々の邪悪さのゆえに、あなたの神、主があなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。また主があなたの父祖、アブラハム、イサク、ヤコブになされた誓いを果たすためである。(申命記9:4-5)

だから、私たちの神は、水準を上げたいのです。私たちの神は、殺すのを止めさせ、殺人を止めさせたいのです。レイプを止めさせ、悪い行いを止めさせ、水準を引き上げ、敬虔な生活を送らせ、・・・神はいのちを選んでほしいのです。死ではなく。死は、唯一、神を持たない人々によって是認^{せにん}されるのです。いのちは、神を敬う人々によって神聖化されます。そして、それは過去を覗き見るようなものだと言って良いですか? しかし、皆さんのうちどのくらいの方が、未来にそれを予期していますか? 私たちは21世紀に生き、世界は準備が整い、世界政府の準備が整い、世界経済の準備が整い、世界宗教の構造の準備が整っています。考えてください。誰のための準備ですか? 自分がキリストであると主張する、ある人物のためです。キリストはヘブライ語でメシア、マハシアと言います。彼は自分がキリストだと主張しますが、実際には、彼は正反対の存在です。それはギリシア語ではアンティ・ハリストスと呼ばれ、キリストの正反対、メシアの正反対です。皆さんが聖書を学んでいるか分かりませんが、この人物は、必ず、すぐに現れます。ピクニックに、ではありませんよ。ヨハネの黙示録13章16～17節にはこうあります。

また獣は、すべての者に、すなわち、小さい者にも大きい者にも、富んでいる者にも貧しい者にも、自由人にも奴隷にも、その右の手あるいは額に刻印を押させた。(黙示録13:16)

彼はすべての者に押させるのです。「否定するなら、強制する」興味深いことに、申命記にはこのようなことが書いてあります。神はイスラエルの民に言われました。神の言葉を覚え、手に結び付け、額の上に置くように。こここのところに。それがなんと、偽のメシア、反メシアは人々に手と額に、印を刻印するよう求めるのです。興味深いことに、彼がしたのは、それだけではありません。聖書は言います。

また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外はだれも、買うことも、売ることも出来ないようにした。(黙示録13:17)

あなたは移動できなくなります。ほんのわずかな移動すら。あなたは買うことが出来ず、売ることが出来ず、何も出来なくなります。各国の政府は、既にキャッシュレス社会に向けて動いています。それは既にそこにあるのです。彼らはテロを非難し、マネーロンダリングを非難し、すべてを非難して、そして、あなたが使う全てのお金をより厳しく管理するようになるでしょう。黙示録20章4節には、こうあります。

また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たちがいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。また私は、イエスの証しと神の言葉のゆえに首をはねられた人々のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。(黙示録20:4)

考えてください。世界全体の指導者が、手か額に刻印を受けなかった人々に何をするのか。何ですか？ 首をはねるのです。10人、20人、100人、200人が首をはねられると、私たちはぞっとし、危機を覚えます。世界全体は、もうすぐ非常に邪悪な一人の人間が率いる政府に支配され、彼は、その刻印を受けなかった者の首を一人残らずはねます。

私たちは、今、かつての世界の様子と、後の世界の様子を垣間見えています。私たちは、過去がどのようなであったか理解しました。私たちは、将来、何が待ち受けているか理解しました。しかし、その過去と未来の間に、その中間に、誰かがこの世界に来たのです。自ら高ぶる事なかった方、彼の栄光の御国を離れ、下って来られた方、人間の肉体を受け、あらゆることを経験された方、私たちと共におり、私たちと同じ気持ちを味わい、理解する為に。私たちが自由にする鍵を持っている方、あなたの目を開いてくださる方、真理である方、彼はいのちです。彼は道です。彼は一つの道ではなく、道そのものです。あなたにいのちを与えたい、豊かに与えたいと願っておられる方。彼の聖霊を、無償で与えられる方、あなたの心の扉を叩く方。でも、いいですか？ イエスは紳士です。彼はあなたの心の扉を叩いています。彼は押し入ったりしませんし、あなたの意志に反して入ったりもしません。コン、コン、コン、…それだけです。

私は2日前の結婚式について考えていたのですが、皆が、あれは完璧な結婚式だった、と思いました。なぜだと思いますか？ イエスが招かれていたからです。彼は招かれたから、来たのです。彼がそこにいたから、あんなにも完璧だったのです。彼は招かれるところなら、どこにでも行かれます。彼を招くなら、彼は招かれたすべての心に入って、共に食事をされます。しかし、悪が忍び込む時…悪は忍び込みます。そして、悪はあなたの人生に侵入し、悪は来て、あなたの人生に忍び込み、気がつけば、そこにあるのです。私はここで、信者としての完璧な人生を示すつもりはありません。私たちの人生全体が格闘です。あなたが彼と共にいれば、喜びに満ちたものになるでしょう。なぜなら、終わりがどうなるか知っていますから。でも、それは上がり下がりがあって、旅路です。ここで先ほど言いましたが、もう一度言います。私は、クリスチャン人生をよく、下りのエスカレーターを走って上る事に例えます。試したことはありますか？ 私は試しました。ショッピングモールに行って、下りのエスカレーターを走って上がったんです。どうなったと思いますか？ 私は止まりました。次にどうなったでしょう？ 私は下がって行きました。それでまた走り始めました。そして、つまづいてしまいました。次はどうなったでしょう？ 下がって行きました。言い換えると、この世界は間違った方向に進んでいます。この世界は、あなたを引きずり降ろそうとします。だから、あなたは走らなければなりません。競争を走りましょう。そして倒れないようにしなければなりません。でも、もし倒れたら？ 自分を憐れむ時間はありません。起き上がって、身を正して、もっと早く走るのです。うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進みましょう。アーメン？

皆さん、知っておいてください。悪は、信者の生活に忍び込みます。それはおそらく、不従順に基づく愚かな選択のせいです。なぜなら、不従順が悪につながり、悪が死につながりますから。皆さんも、おそらくそういった事をしたでしょうし、私たちは、間違った選択をした事があるかも知れません。しかし、なんと？ 悔い改めて、そこから逃れ、追い求めて、闘って、そして打ち勝たなければなりません。悔い改めましょう。マタイによる福音書4章17節では、

この時からイエスは宣教を開始し、『悔い改めなさい。天の御国が近づいたから』(マタイ4:17)

イエスが大衆に向かって宣教した最初の言葉は、「悔い改めなさい」でした。まず、あなたが悔い改めなければ、神に属し、神の子となり、聖霊を受けることは出来ず、そうしようとも思わないでしょう。それが最初のステップです。悔い改めた後は、テモテへの手紙第2章20節にこうあります。

あなたは若いときの情欲を避け、(第2テモテ2:22)

私はいつも言うのですが、戦い、取り組むべき事があり、また、避けて逃げるべきものがあります。テモテへの手紙第1章6章11節にはこうあります。

義と敬虔と信仰、愛と忍耐と柔和を追い求めなさい。(第1テモテ6:11)

エペソ人への手紙6章11~12節にはこうあります。

悪魔の策略に対して堅く立つことが出来るように、神のすべての武具を身に着けなさい。私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。(エペソ6:12)

それから、興味深いのは、終わりが既に書かれていることです。終わりには、私たちは勝利します。なぜなら、ローマ人への手紙の8章37節には、こうあります。

しかし、これらすべてにおいても、私たちを愛してくださった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。

(ローマ8:37)

アーメン? さて、今夜は、皆さんにチャレンジしたいと思います。とてもシンプルなことです。この世には悪が存在します。ところで、ISISだけが悪の団体ではありません。ISISだけが悪を行っているわけではありません。悪は世界中に存在します。フィリピンの南部にもいますし、北部にもいます。マニラの郊外にもいますし、アジアにもヨーロッパにもいます。アフリカにもアメリカにも、…世界中にいます。悪は忍び込んでいて、乗っ取り、地を占領しています。あなたはそれを見ることが出来ますし、感じることも出来ます。しかし皆さんに知ってほしいのは、神は皆さんに選ぶ権利を与えておられます。単純な選択です。

見よ、私は確かに今日あなたの前に、いのちと幸い、死とわざわいを置く。(申命記30:15)

そして神は言いました。「あなたはいのちを選びなさい」

今夜、皆さんに理解してほしいのは、この世に悪が存在する理由は、一つは反抗的な霊のため、もう一つは、彼を選択しなければどうなるかを、あなたに見せるために、神が許しておられるのです。今夜、皆さんには選択肢があります。なぜ今夜かという、明日、携挙が起こらないとは言えませんから。事実、私は今、言います。私は、今夜、携挙が起こってほしいです。アーメン? (アーメン) でも、もし、今夜、携挙が起こるとして、ええと、今何時でしょう? 7時10分ですね。では、7時20分に携挙が起こるとしましょう。ちょっと考えましょう。あなたは携挙されると思いますか? では、よく聞いて下さい。神は、あなたに選択肢を与えています。ISISか、それともイエスか。神を排除するか、それとも神を恐れるか、悪か善か、死かいのちか、神があなたに選んでほしいものは? いのちです。神は、誰を選ぶ事を願っておられるでしょう? イエスです。今夜、私たちが招きをするまで、そのドアを開けなさい。ここに今座っている人のうち、20~30%の人は、イエスを個人的に知らないのではないかと思います。ところで、ここだけではありませんよ? 世界中の教会で、出席者のおよそ半分は、イエスを個人的に知りません。半分以上の人は聖書を読まず、祈りません。でも彼らは教会に来ます。あなたが行くから、日曜日だから、みんなが教会に行くから。そして、かごが回って来れば何かを入れます。みんな何かを入れないといけないから。そして歌が流れたら、手を挙げてジャンプします。みんなが手を挙げてジャンプするから。しかし、あなたは本当にイエスを知っていますか? イエスのよみがえりの力を知っていますか? あなたは自由になりましたか? あなたが完璧だと言うつもりはありません。私たちの誰も完璧ではありません。もし自分には罪はないというなら、あなたは自身を欺いている、とヨハネの手紙第一にあります。私が言いたいのはこうです。今夜、今、終わりにさしかかって、今夜、私は皆さんをお招きたいと思います。個人的にだけでなく、公に示して下さい。あなたは、キリストの福音を恥じないこと、そして、あなたが悪や死ではなく、イエスを選ぶことを。また、あなたは悪が日常的に行われる、この世には属することを望まない事を。今なら、ただで受けられます。後になると、首をはねられます。今は、とてもシンプルです。後には、それを経験したくないでしょう。今は、あなたの目はまだ開かれています。後には、あなたはものすごく盲目になって、イエスを見ることすら出来なくなるでしょう。聖書は、黙示録でこう語っています。非常に大きな災厄が、世界に降りかかる時、聖書は非常に多くのことが起こると言っています。そして、神には、そのすべてを止めることが出来ると知りながら、人々は、神の御名を呼ぶどころか、神を冒瀆するのです。それほどまでに、世の人々は盲目になるのです。

では、皆さん、目を閉じてください。そして、今この夜に、自分の心を調べてください。神を悲しませる何かがないかどうか。神に明け渡していない領域がないか。私たちは、主であり救い主である方を個人的に知っているかどうか。自由になっているか。本当にいのちを選んでいるか。もし10分以内に携挙があるとして、引き上げられるかどうか。

か。私は今、祈りますので、私のお祈りが終わったら、イエスを受け入れたい方は、今夜、あなたは恥ずかしい思いはしたくないでしょう。あなたは、イエスを選ばなかったら、本当に恥ずかしい思いをします。自分の未来、あなたのいのちで賭けをしてはいけません。

お父さま、イスラエルの聖なる方、王の王、主の主である方の御名によって、今夜、私たちはあなたの御前に立ちます。あなたが悪を創造したのではなく、むしろあなたは正反対の存在であることを理解します。お父さま、あなたを知ることができ、私たちのうちにいてくださり、この世の悪から救ってくださり、感謝します。お父さま、私たちはこの世界がどうなっていくか、いのちの本当の源が何であるか、いのちの道が何であるか、このいのちの唯一の真理が何であるか、理解しました。それは私たちの尊いメシア、私たちのために来て、死なれた方。お父さま、今夜、私たちは認識しました。私たちは間違った方に行き、あなたの望まない生活を送っていたかも知れません。しかし今夜、お父さま、私たちはこれらすべてを変えたいのです。お父さま、ここにいる全ての心を、今、奮い立たせてください。もしこれで終わりなら、ここにいる中で、あなたを知らない人全員が、前に進むようにしてください。彼らが心にあなたを受け入れるよう、皆で祈ります。あなたが今してくださっている事に、感謝します。

イエスの御名において、アーメン。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.05.20 (Wed)